



つくしんピック

R5.05.09



里だより

No.377

令和5年6月1日

—発行—

菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

FAX 096-293-1579



編集後記……………7

ありがとうございます。

行事予定・

行事報告……………6

職員より・医務より・
サービス向上委員会より……………5

主任より……………4

サビ管より……………3

施設長より……………1

六月号もくじ

(ページ)



施設長より

それぞれのライフサイクル



チャットGPTなるものが世間の関心を引いています。AIの進化によって質問した内容も多くデータの導き出し、複数の回答ができるようになっていきます。「里だより」も、ちやちやと作成してくれると便利なものと思いつつ、稚拙な文章でも、利用者さんのご様子や内部のことは、そこにいる者しかお伝え出来ないという使命を自分に課して、記事を書いています。拙文ですが今後ともお付き合いのほど、お願いします。

今回は、利用者さんとのやり取りを寄せます。

夕食後、居室から私の姿が見えたようで、一人の利用者さんが「ちよつと！ちよつと！急いで来て！走って、走って！」と手招きをして大声で呼ばれるので、何かあったのかと慌てて、お部屋に伺うと、「ちよつと見て！」と笑顔で迎えられる、指をさした先には、広げたアルバム。ホツとするのも束の間、「これ〇〇に行った時の：：」「ほら、ここにお姉さんが写ってる」「この時の担当は〇〇さんだった」等々、矢継ぎ早に話されました。

空いた時間にアルバムを開いてみたものの、そこに写る様々な思い出を一人で懐かしむには感情を抑えきれず、誰かと共有したくなり、たまたま私の姿が見えたので、居ても経つても居られず、大声で呼んだというところでしょうか。以前も、アルバムを見て回想療法の一つになるのでは：：と本誌に書いたことがあります。この利用者さんはここ数年、認知症の疑いが強

く、最近では短期記憶が徐々に困難になられていますが、アルバムの出来事を驚くほど細かく覚えていました。中でも、随分前に亡くなられたご家族や担当職員との写真を見て「この時は、私も言うこと聴かんで迷惑かけたー」、「(周りの人に)よく怒られたー」と笑顔で話され、「副支店長(私のこと)も、この時の私の担当だったら、どやんする？怒るど？」の問いに、「そうですね」と答えると「ギャハハハハ！やっぱりね(笑)。言うこと聴かんだったもんねー」と。懐かしく楽しい思い出になっているようです。その後も、アルバムを捲りながら、外出や行事の思い出話を聞くことになるのですが、時間が経つのを忘れてあーだった、こーだったと話が弾みました。

一つ一つを思い出せるということは、本人にとって印象深いものだったからなのか、日常を切り取った写真の一つ一つが大切なものだったのでしょうか。このような笑い話ができるようになるまでには、ご本人もいろいろな経験をされ、今に至ります。他事業所での支援に見切りをつけられ、当事業所の利用を始めた頃は、毎日のように、いつトラブルが起きるかハラハラする日が何年も続きました。私も何度、ご自宅に伺ったことか：：。落ち着いてきたかと思う頃には、ご家族が認知症を発症され、家族の体調を心配し、自分の帰る場所、今後の身元引受人のことなどの不安で生活が乱れたりもしました。また、ご家族が逝去された際も同様の状態が訪れました。安心できる生活が少し続いたかと思つた時には、今度は自分の病氣と向き合われています。耳も遠くなり、なかなかこちらの指示や情報が入っていかない。見ているものをすぐ口にしてしまい、他者とのトラブルへ発展することもしばしば。次の行動に何をしたらいいのか

分からなくなる実行機能障害に似た症状もあり、常に不安が付きまっています。

人の状態は変わります。同じように、支援する内容や手段も変わります。出会った当時の私たちも、教科書では分かっていたものの、現実として捉えることができなかつたのだと思っています。

今のご本人に安心できる声のかけ方や質問に対する回答は、どのようなものか。適切な支援とは何かを見定めて対応する必要があります。共にイベントや一日一日を共有するのも一つの寄り添い方ではありますが、その積み重ねの人生のライフサイクルへの寄り添いも大きな仕事のひとつだと考えています。完璧でなくても、失敗しても、「あの担当さんの時・・・」と、それを一緒に乗り越えてくれた職員の仕事は、今でも心の中に安心感として大きく占めているようです。

それぞれの利用者さんを見つめて、ライフサイクルを豊かなものにしようとしてくれるスタッフ・仲間がいることに感謝しつつ、知らず知らずに利用者さんから受けている心の恩恵に気づきつつ、今はまだAIでは分からないであろうアナログの人と人の関わりの大切さが福祉という仕事の魅力だと実感できる出来事でした。

施設長 松永 一博



施設 PR 委員会 今月の 1 枚！



つくしんピック楽しかった！！

サビ管より

今年度は入浴の時間や食事場所の変更、余暇時間の過ごし方等、日課を大幅に変更し、例年とは違うスタートを切る事となりました。当然、事前に説明し、試行期間を経ての事ではありませんが、ご利用者の日常に支障が生じることが無いか、注視していかなければならない状況でした。今後も確認すること継続しなければなりません、既に皆さん日課が定着し、個々に合わせた過ごし方が出来ているようです。

何かを始めるにあたっては、ご利用者に効果を求めるためですが、同時にリスクにも対応できるように備えなければなりません。しかし、私たちの心配を他所に、意外と柔軟に環境に馴染まれ、拍子抜けすることも多く、その適応力の高さや習慣として続けていくことの重要性を強く感じたりもします。ご利用者から教えていただく新たな気付きがまだまだあり、もっと理解しなければならぬと思う毎日です。

事業計画に関しても、具体的な取り組みにおいて、予定通りに進んでいないことや、軌道に乗れていないことも多いです。ご利用者からすると、職員が個々に慌ただしく毎日を過ごしているように見え、余裕がないように映っているかもしれません。それは、反省しなければならぬことだと思えます。もしかすると「そんなにバタバタしなくとも大丈夫ですよ」と冷ややかに見られていることも、実は多いのかもしれない。

今年度はボランティアや実習の受入れ、外出等も正常に動き出しています。

茶道ボランティア、音楽・朗読ボランティア、フラワーボランティア等、皆さん心待ちにされてきました。茶道の作法等に笑顔と歓声に溢れかえっていました。

実習については、歯科衛生士専門学院の実習生をお迎えし、障がいのある方々の口腔ケアについて学んでいただき、私共も専門的なアドバイスを受け、支援に役立てています。実習生を受け入れることにより、ご利用者にも普段とは違う環境の変化として、喜んで関わりを持つとされる方がいたり、場の雰囲気も賑やかになります。また、実習生にも皆さんの生活を知ってもらい、直接触れ合うことで、様々なことを知り、理解し、考え方を変える機会ともなり、実習期間中に得ることは互いに非常に価値あることだと感じています。

外出に関しても、ご利用者のニーズを確認しながら積極的に出掛けるようにしています。ようやく、本来の日常を取り戻せたようで、楽しみのひとつとして加えることが出来たようです。皆さんの笑顔が増えていくことは、誰もが喜ばしく思うことで、嬉しく感じることもあります。外出やその他イベントも日常の一部として、特別なことではない生活に出来るよう、更に外出できる機会を増やしていきたいと思えます。

見直すべき事や課題は山積みですが、皆さんの生活をじっくり考えることが出来る一年にしたいと思います。

支援課長 今田有哉



主任より

人が足りない



「これからの時代はIT関係業界だ」と言われた二十年前、同じく期待された業界は福祉業界でした。日本の高齢社会での需要の高まりから、社会貢献できる仕事としてクローズアップされていきましたが、現在はどうでしょう。厚生労働省が二〇一五年に公表した「二〇二五年に向けた介護人材にかかる需給推計」では、二〇二五年の福祉業界における人材需要が二百五十万人に対して従事者数は二百十五万人と約三十八万人の人材不足が予測されています。期待されていた業界なのに、どうしてこんなに人が来ないのでしょうか。

皆さんは福祉業界にどの様なイメージをお持ちでしょうか。「不規則」「人材不足」「安月給」「体力勝負」「やりがいがある」等、色々なイメージがあると思います。就活サイトでは福祉に携わる介護の仕事について、学生にアンケートをとったところ、ストレスがすごそう六十二パーセント、体力勝負三〇パーセント、やりがい八パーセントという結果だったそうです。どうしても仕事ハードである等のマイナスイメージが強いようです。私も、他の人に福祉業界で働いていると話すと「大変な仕事をされていますね」と言われる事が多いので、「福祉業界は大変だ」が一般的なイメージなのかもしれません。

ある介護系ユーザーが視聴者から仕事を選んだ理由を聞かれて答えていました。「安い給料と言われるが、自分が働いている所は一般企業と変わらない。大変な仕事と言われるけれど、インターネット関係や販売、運送業等、それぞれの仕事の

大変さがあると思う。動画編集等のクリエイターとか、座って長時間画面見るとか自分には向いておらず、出来る気がしないし、そっちの方が大変だと思う」と。その動画を見ながら、じやあ、この動画は誰が編集しているのだろうと疑問に感じつつ、確かにその通りだなと思いました。私自身の話ですが、実は規則正しい勤務に苦痛を感じます。月曜から金曜まで八時〜十七時勤務。耐えられません。不規則万歳です。子育てをしている父親としては不適切かもしれませんが、特に土日が休みだと一人の時間が。結局どこに魅力を感じるかは、それぞれなのだと思います。

福祉業界の人材不足解消の手段としては、マイナスイメージの脱却や給与アップ等もありますが、別の視点から考えてみました。つくしの里では、今、少人数ですが、筋トレに嵌っている職員がいます。本格的なダンベルや懸垂器具等を持ち寄り、休憩時間や退勤後に筋トレをする場所が施設内にあります。県外の何処かの施設では、職員の体づくりの一環としてプロテインの提供や、筋トレ時間を残業扱いする事業所もあるそうです。また、先ほど挙げた介護系ユーザーは、金髪でピアスを開けた男性で、九年間高齢者施設に従事されているそうです。他の施設ではオシャレを楽しむため、髪色や服装は自由なところもあります。周囲の理解も必要ですが、真面目に仕事に取り組む事と見た目は関係ないのだと思います。

利用者さんも職員も魅力ある施設（職場）を目指しつつ、二十代の頃を思い出して髪でも染めて、出退勤の時くらいはピアスをしてみようかと思う今日この頃です。

主任支援員 山中真史

職員より



3 班に所属となり 1 年間が経過し、ようやく各利用者さんの個性や特性・どんなことに興味があるのか等、分かるようになりました。新たに担当をさせて頂く F さんは、今までは私に対して特に働きかけはなかったのですが、担当になり少しは信頼していただけているのか、私が夜勤や遅出などで勤務している際には、隣に来て一緒に過ごされるようになりました。

今後も利用者の方に信頼してもらえるような支援を行っていききたいと思います。

(支援員 井)

医務より



今年度 1 回目の健康診断が 4 月に終了しました。今後の予定は、歯科検診・大津町のがん検診・2 回目の健康診断になります。また予防接種は、新型コロナ（現在日程調整中）、11 月のインフルエンザ予防接種になります。新型コロナとインフルエンザの予防接種は出張健診として施設で行う予定です。他の予防接種（肺炎球菌や带状疱疹ワクチンなど）は、希望があれば対応しますのでご連絡ください。

2 月～3 月は新型コロナとインフルエンザの同時流行も心配していましたが、1 月のクラスター収束後は大きな感染症の流行もなく過ごすことができました。コロナが 5 類に移行しましたが、コロナウイルスがなくなったわけではなく、高齢者や病気のある人にとっては怖い病気が変わりありません。新たな日常が始まりましたが、施設ではこれまでと同じ感染対策を行っていききたいと思います。

(看護師 松村)

サービス向上委員会より



■ 地域交流【主任支援員 小嶋・支援員 村上・山田】

コロナ禍になって、なかなか地域の方と交流する事が出来ませんでしたので、昨年度から小学生の下校時の見守り運動、移動販売に伴う高齢の方の荷物運びを行っています。小学生は元気よく「いつもありがとうございます」と言ってくれます。荷物運びの際は「いつもありがとね」と涙を流しながらお礼を言って下さって、私たちも嬉しくなります。「地域に愛される施設」を目指して、これからもたくさん交流し、地域の方にたくさん恩返しが出来たらと思います。



生介4班で
玉ねぎを収穫
しました!!

行事報告

※ 4/21（金）～5/20（土）の実施分について報告いたします

★ 利用者健康診断【4月19日（水）・26日（水）つくしの里】

今年度 1 回目の健康診断を行いました。健診項目は、身体計測・血圧・視力検査・聴力検査・血液検査・胸部レントゲン検査・心電図検査・診察です。血液検査のため、朝食がなく、少し落ち着かない方もいましたが無事に終了しました。結果は、揃い次第お伝えします。
(看護師 松村)

★ 施設・後見人・情報交換会【4月29日（土）つくしの里】

後見人・ご家族等、多数のご出席をいただきました。新入職員の挨拶に始まり、令和4年度事業結果報告、各班からの活動報告等が行われました。各班からの報告では、写真をスクリーンに映して説明をしました。ご家族へお伝えしたい、お見せしたい利用者さんの日頃の表情や活動風景、外出時の様子などの一部に過ぎず、ご不明な点もあったかと思えます。利用者さん個々でアルバムに写真を綴じておりますので、ご覧になれる場合は職員へお申し付け下さい。最後の質疑応答では、2名のご家族より4点のご意見、ご提案をいただきました。過去、3回実施していた情報交換会も、3月に新年度説明、4月に結果報告の2回となりました。面談等で施設へのご来園はありますが、ご家族同士、顔を合わせる機会も少なくなりましたので、今回、多くのご出席をいただき、ご家族同士の会話も弾み、活気のある会となりました。ありがとうございました。

(主任支援員 長淵)

★ つくしんピック【5月9日（火）つくしの里】

今年で12回目を迎え、皆さん元気いっぱいに参加されました！

いきいきグループは男女対抗、きらめきグループは班対抗で競い合い、3種目の競技を行いました。各班共通の競技としての的入れとボウリング。残りの1種目は、グループごとのオリジナルとして、紙コップ取り合い合戦と紙コップ積み上げ競争を行いました。

競技中は「頑張れー！」とメンバーに声援を送ったり、喜び合ったり、「すごーい！」と褒め合ったり、負けて悔しがったり、どのチームも優勝を目指して頑張りました。いきいきグループは女性チームが優勝、きらめきグループは5班が優勝を収めました。

皆さん楽しまれたようで「楽しかった！」という感想を多く頂きました。他の競技もしたかったとの意見もありましたので、来年度のつくしんピックは今回の意見も取り入れ、利用者さんがもっと楽しめる会に出来たらと思います。
(支援員 田中)



行事予定



☆ 大津町障がい者施設利用者作品展示会

(大津町役場 正面玄関 1F フロア)

期 日：6月19日(月) 12:00～30日(金) 14:00まで

内 容：大津町内6施設で行う利用者さんの作品展示会です。

近くに来られた方は、ぜひ足を運んでみてください。



☆ 生活介護⑤班外出 (美里町 佐俣の湯)



期 日：6月28日(水曜日)

内 容：ゆっくり温泉に入り、美味しい物を食べ、山間の景色を見て保養してきます！

ありがとうございました

今月の掲載分は、
令和五年四月二十一日、
令和五年五月二十日です

【寄付・寄贈】

- ・今坂 桂子 様
- ・江頭 勝 様
- ・後藤 裕司 様
- ・下田 茂 様
- ・竹山 眞事 様
- ・藤田 孝志 様
- ・渡辺 昭子 様
- ・つくしの里保護者会 様
- ・内田 節代 様
- ・緒方 静江 様
- ・米田 政輝 様
- ・下田 吾一 様
- ・中島 茂 様
- ・馬原 伸二 様
- ・まんしん未来 様

【ボランティア】

- ・村里 和洋 様
- ・トキロロ 様
- ・木本 ふじ子 様
- ・佐藤 典子 様
- ・カモメ 様

誠にありがとうございました。
利用者さんの為に使用させて頂きます。



※お詫びとおことわり

里だより担当では、毎月十分注意して記事の記載、確認をしておりますが、誤字脱字等がございましたら何卒ご容赦していただきたく存じます。

編集後記

新型コロナウイルスが5類に移行し、世間は賑わいを取り戻していますが、インフルエンザ流行のニュースが聞こえてきて心配しています。

これまで滞っていた分、積極的に外出を計画しているので、感染対策には十分気を付けます。

美味しく頂きました(*^-^*)



～茶道ボランティア～